

平成29年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果
(平成30年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成29年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成30年3月

農林水産部長 酒井 智吉

項目	実施結果
<p>1 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ</p> <p>◇食料産業パワーアップ</p> <p>○競争力を高める福井米づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いちほまれ」の品種登録を行い、平成30年からの本格生産販売に向け、農業団体と一体となって、高食味を確保する栽培指導を行うとともに農薬の使用量を減らし、高付加価値米を生産します。 ・「いちほまれ」のブランド化に向けて、新品種にふさわしいロゴマークや米袋を制作するほか、首都圏を中心としたPR活動や百貨店、高級料理店などへの営業活動を強化し、高価格販売につながる新たな販路を確保します。 <p>交流拡大施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100ha規模のメガファームの育成とあわせて、全集落営農組織を対象に、組織の経営状況に応じた規模拡大や園芸導入について、JAと共動して個別指導を実施し、経営力の向上を図ります。 (平成28年度 累計12組織) <p>メガファーム数 4組織増 累計16組織</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>平成29年産については、県内において高い生産技術を持つ生産者131名が栽培に取り組み、生産量は600tとなりました。</p> <p>また、有機栽培や化学肥料・農薬を5割以上削減した特別栽培など、付加価値の高いお米も生産しました。</p> <p>さらに、「いちほまれ」は、平成30年2月28日に、食味ランキングで特Aを取得しました。 (品種登録は、平成29年4月24日に出願)</p> <p>名称やロゴの発表会をはじめ、販売開始イベント、高級料理店での「いちほまれフェア」等あらゆる機会を捉えて積極的に情報発信を行った結果、全国枠でのテレビ放映や新聞掲載をはじめ多くのメディアに取り上げられました。</p> <p>9月23日の日本橋三越でのトップセールスを皮切りに始まった試験販売では、太陽をモチーフにした金色のロゴマークの米袋が店頭に並び、高値販売を実現しました。あわせて、首都圏の百貨店や専門店、高級スーパー等、新たに300を超える販売店を開拓しました。</p> <p>農地の集積・集約による規模拡大に加え、ふくい農業経営力向上塾での経営指導等を通し、新たに4つのメガファームを育成しました。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) ゆいファーム (大野市) ・(農) イーノなかのはま100 (あわら市) ・(農) 大川あぐり (坂井市) ・(農) 陶部グリーンファーム (越前町) </div> <p style="text-align: right;">メガファーム数 4組織増 累計16組織</p>

項目	実施結果												
<p>○九頭竜川地域 農と水の振興ビジョンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> パイプライン通水エリア全域において、夜間かんがいの実施と農薬の使用量を減らしたコシヒカリの生産を昨年度に引き続き実施します。 三里浜砂丘地においてニンジン、ラッキョウ、ミディトマト、コカブ、ショウガの生産を拡大します。 (平成28年度 163ha) <p style="text-align: right;">三里浜砂丘地園芸生産面積 170ha</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本一の生産基盤を活かした農業について、教科書への掲載を提案します。また、九頭竜川地域のパイプラインを地域の児童の学習に活用します。 (平成28年度 41校) <p>学習会の開催校数 19校増 累計60校</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>通水エリアにおいて、コシヒカリを栽培する水田全域で、パイプラインの冷たくてきれいな水を活かした夜間かんがいを実施しました。 (夜間かんがい生産面積 4,503ha)</p> <p>三里浜砂丘地において、ニンジン、ラッキョウ、ミディトマト等の生産を拡大し、作付面積は177haになりました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・ニンジン</td> <td>3ha増</td> </tr> <tr> <td>・ラッキョウ</td> <td>7ha増</td> </tr> <tr> <td>・ミディトマト</td> <td>0.3ha増</td> </tr> <tr> <td>・コカブ等軟弱野菜</td> <td>1.5ha増</td> </tr> <tr> <td>・ショウガ</td> <td>0.4ha増</td> </tr> <tr> <td>その他、メロン、スイカ等</td> <td>1.8ha増</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">三里浜砂丘地園芸生産面積 177ha</p> <p>各出版社を訪問し、九頭竜川地域の最先端技術を活用した営農を説明しました。 教育委員会や各小学校へ学習会の提案を行い、学習会の開催校は63校に増えました。</p> <p style="text-align: right;">学習会の開催校数 22校増 累計63校</p>	・ニンジン	3ha増	・ラッキョウ	7ha増	・ミディトマト	0.3ha増	・コカブ等軟弱野菜	1.5ha増	・ショウガ	0.4ha増	その他、メロン、スイカ等	1.8ha増
・ニンジン	3ha増												
・ラッキョウ	7ha増												
・ミディトマト	0.3ha増												
・コカブ等軟弱野菜	1.5ha増												
・ショウガ	0.4ha増												
その他、メロン、スイカ等	1.8ha増												
<p>○福井の野菜・果物をもっと市場へ</p> <ul style="list-style-type: none"> 周年出荷を目指した大規模園芸施設において、ミディトマト、青ネギ、イチゴの生産を拡大します。 企業と共働して、地中熱や赤外線を活用した施設園芸の暖房経費の低コスト化技術の実証を進めます。 (平成28年度 475t) <p style="text-align: right;">大規模園芸施設販売量 780t</p> <ul style="list-style-type: none"> 水田地域において、集落営農組織等にネギ、キャベツ、ブロッコリー、タマネギの生産を拡大します。 (平成28年度 201ha) <p style="text-align: right;">集落園芸面積 250ha</p> <ul style="list-style-type: none"> ブドウの生産拡大に加え、新たに観光農園向けの柑橘、完熟モモ・スモモの生産を開始します。 (平成28年度 81t) <p style="text-align: right;">おいしい果物生産量 110t</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>今年度から新たに5か所でフルーツトマトやイチゴ等の本格生産が始まり、県内12か所の大規模園芸施設における販売量を790tに拡大しました。 地中熱や赤外線を活用した低コスト技術に加え、細霧冷房等の水の気化冷却を利用した冷房技術の実証を行いました。</p> <p style="text-align: right;">大規模園芸施設販売量 790t</p> <p>集落営農組織の園芸導入に必要な機械等の整備を支援し、新たにネギ、キャベツ等を生産する集落営農組織等を49組織育成し、220組織となりました。 また、栽培面積を25%増の251haにまで拡大しました。</p> <p style="text-align: right;">集落園芸面積 251ha</p> <p>シャインマスカット、サニールージュ等のブドウの栽培面積を1ha増の14haに拡大し、直売や贈答用として85tを販売しました。また、観光農園等に向けた、柑橘、モモ・スモモを30t生産しました。</p> <p style="text-align: right;">おいしい果物生産量 115t</p>												

項目	実施結果
<p>○「福井百歳やさい」の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 越前白茎ごぼう、菜おけ、吉川ナスなど「福井百歳やさい」の生産面積の拡大を支援するとともに、直売所や農家民宿・農家レストラン等への販売を促進します。 <p>(平成28年度 14.6ha)</p> <p style="text-align: right;">福井百歳やさいの生産面積 17.0ha</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>河内赤かぶらは、美山地区全域で作付けを推進し、新たに0.2ha拡大しました。</p> <p>また、PR活動により県内の需要が拡大し、勝山水菜0.3ha、越前白茎ごぼう0.3ha、菜おけ0.3haなど、それぞれ作付けが拡大しました。</p> <p style="text-align: right;">福井百歳やさいの生産面積 17.1ha</p>
<p>○畜産物の生産・販売拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 若狭牛の導入支援や提供店の新規開拓を行い、三ツ星若狭牛の生産・販売を拡大します。 <p>(平成28年度 3.0億円)</p> <p style="text-align: right;">三ツ星若狭牛販売額 3.1億円</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに開発した地鶏「福地鶏」の普及を図るため、ひなを計画的に農家に供給するとともに、「地鶏たまご」をスーパーや直売所において販売を開始します。 <p>(平成28年度 ー 羽)</p> <p style="text-align: right;">新地鶏導入数 2,400羽</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>三ツ星若狭牛の販路開拓を行い、県内を中心に取扱店舗数を125店舗、認証頭数を275頭、それぞれ増やし、販売額を約10%増の3.4億円に拡大しました。</p> <p style="text-align: right;">三ツ星若狭牛販売額 3.4億円</p> <p>6月のたまご発売開始、12月のスイーツ発表会の開催など、年間を通してPRし、たまごや菓子を49店舗で販売しました。</p> <p>新地鶏の羽数は計画を上回り、13戸に対し、25%増の3,000羽を供給しました。</p> <p style="text-align: right;">新地鶏導入数 3,000羽</p>
<p>○6次産業のスケールアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業や大学、研究機関等との共動により、県産食材を使った機能性に着目した新商品の開発やスイーツの販路開拓を進め、6次化商品の販売額を増やします。 <p>(平成28年度 2.3億円)</p> <p style="text-align: right;">6次化商品の販売額 2.9億円</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>商品開発に関する研修会、6次産業化サポートセンターによる専門家の派遣、技術相談を行い、完熟ウメのピューレやサザエの佃煮、今庄つるし柿を使ったチョコレートなど新たに22商品を開発し、これまでに開発した商品数が162に増えました。</p> <p>これら商品の求評会や、商談会を開催したことで、販売額は2.9億円に増加しました。</p> <p style="text-align: right;">6次化商品の販売額 2.9億円</p>

項 目	実 施 結 果
<p>◇「里山里海湖ビジネス」の新展開【部局連携】</p> <p>○中山間産業の新スタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地の維持管理が困難な中山間地域等において、JA等による広域作業受託組織を育成し、耕作放棄を防ぎます。 (平成28年度 累計6組織) <p style="text-align: center;">広域作業受託組織の設立 2 組織増 累計 8 組織</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山間地域において、収益性の高い施設園芸や、鳥獣被害の少ない果樹栽培を推進します。 (平成28年度 累計23か所、5ha) <p style="text-align: center;">施設園芸や果樹栽培への転換 15 か所増 累計 38 か所 1.5ha 増 累計 6.5ha</p> <ul style="list-style-type: none"> 特用林産物については、ジャンボしいたけ(香福茸)や菊炭など付加価値が高いものや、くず、コウゾ、ウルシなど本県の伝統産業を支える原材料の生産を支援し、販売を拡大します。また、インターネットにより山菜などを全国販売するビジネスモデルを構築します。 (平成28年度 6.3億円) <p style="text-align: center;">特用林産物生産額 6.9 億円</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>新たにJA越前たけふ、池田町農業公社において広域作業受託組織を設立し、県内8団体の広域作業受託組織により中山間地域での水稻、大豆等の作業受託をのべ546ha行いました。</p> <p style="text-align: center;">広域作業受託組織の設立 2 組織増 累計 8 組織</p> <p>勝山市若猪野、南越前町上野、美浜町山上など県内15か所においてハウス整備の支援を行い、トマトやキュウリなど収益性の高い野菜への転換を進めました。 鳥獣被害の少ない果樹栽培の推進については、福井市深坂町、福井市小野町、鯖江市河和田町など県内4か所においてクルミなどの栽培を進めました。</p> <p style="text-align: center;">施設園芸や果樹栽培への転換 19 か所増 累計 42 か所 2.3ha 増 累計 7.3ha</p> <p>ジャンボしいたけ(香福茸)について、原木などの資材購入の支援や、生産技術研修会の開催を支援し、生産者7名が12月22日に初出荷を行いました。 くずや研磨炭について、資源量の調査を実施したほか、越前和紙の原料となるコウゾや越前漆器の原料となるウルシの植栽など、伝統技術の継承を支援しました。 また、大野市和泉地区では、山菜など山の恵みをインターネット販売し、高収益を上げるビジネスモデルを構築しました。</p> <p style="text-align: center;">特用林産物生産額 6.9 億円</p>
<p>○福井型・新グリーンツーリズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ミニ農家レストラン、ミニ直売所、体験交流型農園の整備を支援することにより、里山里海湖ビジネスを推進します。 (平成28年度 累計74か所) <p style="text-align: center;">農家レストラン、直売所、体験交流型農園の整備 26 か所増 累計 100 か所</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>ミニ農家レストラン6か所、ミニ直売所6か所、体験交流型農園16か所の地域資源を活用した施設整備を支援するとともに、モデルコースのモニターツアーを行い、里山里海湖ビジネスを推進しました。</p> <p style="text-align: center;">農家レストラン、直売所、体験交流型農園の整備 28 か所増 累計 102 か所</p>

項目	実施結果
<p>・若年層を対象とした漁船クルーズ等の漁業体験の充実や、マハタやトラウトサーモンを活用したコース料理の提供により、さとうみの宿の売上額を増やします。 (平成28年度 38.1億円)</p> <p style="text-align: center;">さとうみの宿の売上額 39億円</p> <p>・県内3箇所に設定したトレイルコースにおいて、イベントを開催するとともに、新たなコースの設置等を支援し、誘客を進めます。 (平成28年度 1.2万人)</p> <p style="text-align: center;">トレイルコース利用者数 1.6万人</p>	<p>漁船クルーズや伝統漁見学などの体験メニューの新設、マハタやトラウトサーモンを使ったランチの提供、リフォームなどの環境整備によって誘客の促進を図ったことにより、さとうみの宿の売上額が増加しました。</p> <p style="text-align: center;">さとうみの宿の売上額 39億円</p> <p>設定したコースを活用して、トレイルイベント「朝倉トレイルラン2017」と「府中馬借街道トレイルラン」を開催しました。 おおい町で新たに開催された「ワイルドボア30K」などのイベント等に支援し、トレイルによる誘客を進めました。 また、平成27年に開発したルートや見どころを案内するスマートフォン用アプリに、新たに開催されたイベント等のコースを追加し、利便性を向上しました。</p> <p style="text-align: center;">トレイルコース利用者数 1.7万人</p>
<p>○鳥獣の被害対策</p> <p>・被害の実態に応じた電気柵・金網柵等の新規整備や更新、地域ぐるみの追い払い活動等を行い、農作物の被害を減らします。 (平成28年度 199ha)</p> <p style="text-align: center;">有害鳥獣による農作物被害面積 180ha 以下</p> <p>・シカの捕獲技術の向上を図るための研修会の開催や優良捕獲者の登録・派遣を行う人材バンクの活用を市町に促すことにより、体制を強化し、有害鳥獣の捕獲を進めます。 (平成28年度 20,600頭)</p> <p style="text-align: center;">有害鳥獣捕獲頭数 20,000 頭</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>集落リーダー研修会等を通じて、集落全体で侵入防止柵の管理や追い払い活動などの鳥獣害対策を進めるとともに、獣種に応じて金網柵や電気柵、ネット柵を68km(見込)整備し、被害防止に努めました。</p> <p>年間を通じてシカを捕獲するため、くくりわな猟や集団での銃猟の実地研修を行い、シカ捕獲技術の向上に努めました。 また、優良捕獲者を派遣する人材バンクの登録者を増やすため、猟友会会員等を対象とした研修を実施し、捕獲体制の強化に努めました。</p> <p style="text-align: center;">有害鳥獣による農作物被害面積 180ha 以下(見込)</p> <p style="text-align: center;">有害鳥獣捕獲頭数 21,000 頭(見込)</p>

項 目	実 施 結 果
<p>◇「ふくい食ブランド」を地消・外商【部局連携】</p> <p>○日本でいちばんおいしい学校給食へ</p> <p>・小学校における学校給食畑での畑作体験の促進や和食・郷土料理を取り入れた地産地消給食の導入を進めます。また、子どもたちが農業を手伝い、水田に親しむ様子を収めた写真コンテストを実施し、子どもたちに、農業の大切さや魅力を伝えます。</p> <p>(平成28年度 150校)</p> <p style="text-align: right;">学校給食畑実施校数 170校</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>市町などの関係機関を通して、学校と生産者の調整を図った結果、170校で学校給食畑を実施しました。子どもたちが収穫した野菜は、給食等で味わいました。</p> <p>また、子どもたちと田んぼや畑との触れ合いをテーマに、第2回目となる「ふくいの田んぼでスマイル写真コンテスト」を実施したところ、122点の応募があり、これらの作品を通じて、広く県民に農業の大切さや魅力を伝えました。</p> <p style="text-align: right;">学校給食畑実施校数 170校</p>
<p>○福井ゆかりの店ネットワーク</p> <p>・新鮮配送システムを活用し、「福井ゆかりの店」の販売額を拡大します。</p> <p>(平成28年度 3,000万円)</p> <p style="text-align: right;">「福井ゆかりの店」の販売額 4,000万円</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>県外事務所の協力を得ながら店舗への営業活動を強化し、新たに首都圏31店舗、関西圏24店舗(累計258店舗)を「福井ゆかりの店」に登録しました。</p> <p>また、県産食材の使用拡大を図るため、シェフ等による産地視察や大都市圏のレストランにおける「福井フェア」を開催したほか、「いちほまれ」フェアを27店舗で展開しました。</p> <p style="text-align: right;">「福井ゆかりの店」の販売額 4,300万円</p>
<p>○海外に売り込む「福井の食」</p> <p>・「ふくい食輸出サポートセンター」が中心となり、香港やシンガポールなどにおいて、食文化提案会や商談会、飲食店での福井フェア等を開催します。本県の食材を取り扱う飲食店や新たに輸出に取り組む県内事業者を増やし、食品輸出を拡大します。</p> <p>交流拡大施策</p> <p>(平成28年度 飲食店 累計17店 事業者 累計24事業者)</p> <p style="text-align: right;">県産食材取扱い飲食店数 13店増 累計30店 輸出に取り組む事業者数 3事業者増 累計27事業者</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>アジア市場への食品輸出拡大に向け、11月、香港とシンガポールにおいて、農漁業団体、経済団体、観光団体と一体となって食文化提案会を開催し、現地飲食店等に対して、いちほまれや越前がに、梅酒など本県の農林水産物・食品を売り込みました。</p> <p>提案会に併せて商談会を開催し、県内の食品・工芸品・観光事業者23社が現地輸入卸業者等との商談を行いました。</p> <p>その結果、現地飲食店における甘えびや越前がになど本県食材を使用したフェアの開催や、新たに輸出を開始する県内事業者の増加につながりました。</p> <p style="text-align: right;">県産食材取扱い飲食店数 13店増 累計30店 輸出に取り組む事業者数 3事業者増 累計27事業者</p>

項目	実施結果
<p>◇もうかる漁業へ転換加速</p> <p>○里山里海湖の「宝」を福井ブランドへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前がに極を先頭に「カニと言えば、福井県」を発信するため、首都圏、関西圏、中京圏の大型ビジョンで越前がにPR動画を上映するとともに、福井で獲れる旬のカニ料理の周年提供を支援します。 ・国内外で需要の高いトラウトサーモンの養殖を嶺北地域に拡げ、日本一の生産地を目指します。 (平成28年度 累計3か所) <p>トラウトサーモンの大型養殖施設箇所数 1か所増 累計4か所</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>首都圏、関西圏、中京圏の大型ビジョンで、PR動画を上映しました。特に、中部国際空港では、PR動画を英語に翻訳し、大型ビジョンにおいて上映するとともに、国際線出発エリアの土産物店で試食販売を実施した結果、香港や台湾の観光客から好評を得るなど、知名度の向上につながり、ブランド力が向上しました。</p> <p>また、越前がにを生かした料理を考案し、旅館・民宿等を対象に研修会を開催しました。</p> <p>福井市鷹巣沖、おおい町大島沖、小浜市西小川沖に設置した大型円形生簀に続き、新たに福井市越廼において養殖を開始しました。</p> <p>トラウトサーモンの大型養殖施設箇所数 1か所増 累計4か所</p>
<p>○地魚の加工・流通拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協女性部と共動し、水産加工施設で作られた加工品を活用して料理や惣菜を開発します。また、ラッピングカーによりPRするとともに、福井ゆかりの店や首都圏において商談会等を開催するなど、加工品の販売を増やします。 (平成28年度 381億円) <p>加工品販売額 385億円</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>水産加工施設の加工品を使って新たな料理を開発し、車体にくいサーモンや地魚が描かれたラッピングカーを利用して県内農産物直売所等で試食・PRを実施しました。</p> <p>また、首都圏での商談会を活用して、福井ゆかりの店等へ水産加工品を売り込みました。</p> <p>加工品販売額 385億円</p>
<p>○水産学術産業拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラウトサーモンの養殖生産量の増大に向けた地下海水井戸の試掘を実施し、マハタの種苗生産施設の整備に着手します。 	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>海水井戸は、小浜市（泊、西津）およびおおい町（大島）の3地点において、3月に試掘を完了しました。取水した水の温度や塩分の測定を継続し、トラウトサーモンの生産量増大に向けた体制や施設の整備を検討します。</p> <p>マハタの種苗生産施設については、8月に業者を決定し、地質調査は11月に、実施設計は3月に完了しました。</p>

項目	実施結果
<p>◇森林を市場にもっと直結 ○県産材をフル活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ林業や民有林と県有林が一体となった木材生産団地を拡大し、山ぎわ等の間伐を進め、県産材の生産を増やします。また、主要道路や国体会場周辺等での間伐を進めます。 (平成28年度 累計95集落) <p style="text-align: center;">コミュニティ林業 20集落増 累計115集落</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工乾燥施設の導入を平成27～29年度で3基支援し、品質の確かな人工乾燥材の生産を増やし、県産柱材の利用を拡大します。 (平成28年度 4,850m³) <p style="text-align: center;">県産柱材の利用 5,800m³</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A材の需要を拡大するため、国内最大規模の展示会への出展や大手建材メーカー等との商談会を開催し、都市圏などへの県産材製品の新たな販路開拓を行います。 (平成28年度 — m³) <p style="text-align: center;">県産材製品の販路開拓 500m³</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐材をA、B、C材に選別し、効率的に出荷するためのウッドターミナル等を整備し、流通の低コスト化を実現し、木質バイオマスへの安定供給を着実に進めます。 (平成28年度 38,000m³) <p style="text-align: center;">ウッドターミナル等取扱量 55,000m³</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPSを活用した境界測量等に対して支援し、山ぎわの森林境界の確認を加速します。 (平成28年度 1,600ha) <p style="text-align: center;">森林の境界確認 1,600ha増 累計3,200ha</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>コミュニティ林業は、集落での説明会(49回)や集落の代表者等を対象としたリーダー研修会(4地区)などにより、20集落で木材生産組合が設立され、昨年度の2割増となる4万3千m³の間伐材が生産されました。 民有林と県有林が一体となった木材生産団地については、10か所増え、30か所に拡大しました。 また、国体ライフル射撃場周辺や舞鶴若狭自動車道沿いなどで間伐を実施しました。</p> <p style="text-align: center;">コミュニティ林業 20集落増 累計115集落</p> <p>県産材の利用拡大については、製材所が設立した協同組合で3基目となる人工乾燥機を整備し、一元的に乾燥を行った結果、県産柱材の利用量が昨年に比べ2割増加しました。</p> <p style="text-align: center;">県産柱材の利用 5,850 m³</p> <p>国内最大の展示会「ジャパンホームショー」(11月東京)をはじめ、「建築総合展NAGOYA」(10月名古屋)、「WOODコレクション」(1月東京)への出展や大手ハウスメーカーとの商談会を開催し、県産材製品の都市圏での販路開拓を進めました。</p> <p style="text-align: center;">県産材製品の販路開拓 550 m³</p> <p>ウッドターミナル等については、池田町(7月)と南越前町(10月)に新たに整備し、間伐材A、B、C材の仕分けに加え、大型車で合板工場や木質バイオマス発電施設へ直送するなど、流通が効率化されました。</p> <p style="text-align: center;">ウッドターミナル等取扱量 58,000 m³</p> <p>集落座談会やテレビ放送でのPR、市町や森林組合職員等を対象とした研修の実施等により事業推進に努め、GPSを活用した山ぎわの森林境界の確認を進めました。</p> <p style="text-align: center;">森林の境界確認 1,600ha増 累計3,200ha</p>

項 目	実 施 結 果
<p>◇産業人材の育成・誘致システム ○人材育成カレッジなど研修体制を充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 園芸カレッジにおいては、圃場での機械操作を増やすなど、実践研修を強化し、高い生産技術を有する新規就農者を育成します。 (平成28年度 累計171人) <p>新規就農者数 89人増 累計260人</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産カレッジにおいては、新たに小型船舶や無線の資格取得のカリキュラムを追加し、新規漁業就業者を確保・育成します。 (平成28年度 累計42人) <p>新規漁業就業者数 18人増 累計60人</p> <ul style="list-style-type: none"> ふくい林業カレッジにおいては、伐採・搬出技術や林業機械の運転資格の取得のための研修などを行い、新規林業就業者を確保・育成します。 (平成28年度 累計81人) <p>新規林業就業者数 49人増 累計130人</p> <ul style="list-style-type: none"> 3カレッジ合同の研修会を開催し、技術や経営ノウハウの共有につなげるとともに、就農後のビジネス展開につなげます。 農林水産系高校を中心に最先端技術の出前講座や体験学習を強化し、就業に結びつけます。 ふくい農業ビジネスセンターにおいて、小規模から大規模に至る全ての農業者を対象に、研修の開催や異業種人材との交流を行い、メガファームの経営者や、新たな農業ビジネスを実践する人材を育成します。 (平成28年度 64人) <p>農業ビジネスの人材育成 46人増 累計110人</p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>ふくい園芸カレッジでは、即戦力の新規就農者を育成するため、就農希望者を対象にトラクターなどの機械操作や店頭販売など実践力を高める研修を強化し、31名の新規就農者を育成しました。 また、大規模施設園芸希望者4名を対象にICTを活用した技術習得研修を実施しました。 その他、県独自の支援として、45歳以上の県外者への給付金拡充等により、今年度は県外28人を含む90人が本県で就農しました。</p> <p>新規就農者数 90人増 累計261人</p> <p>平成29年度は水産カレッジで5名が研修を受講しました。 就業希望者に対しては、漁業体験研修等を実施し、就業に結び付けました。</p> <p>新規漁業就業者数 20人増 累計62人</p> <p>Uターン1名を含む6人の入校者に対し、林業に関する知識や技術の習得、資格取得のための研修を実施するなど、新規就業者の確保・育成を進めました。</p> <p>新規林業就業者数 49人増 累計130人</p> <p>3カレッジ合同の研修会を開催(6月20日)し、異なる分野の研修生がお互いに学び合いや意見交換をしました。</p> <p>農業系高校3校に対して、果樹の栽培技術について3回の出前講座を行い70名が受講しました。また、農業試験場においてナシの摘果体験学習等を実施し、延べ227名が受講しました。</p> <p>ふくい農業ビジネスセンターでは、農家レストランや農家民宿の開業等に向け、経営方法や誘客対策を学ぶ里山里海湖ビジネス研修を開催し、人材の育成を行いました。 また、大規模経営者の経営能力を向上するふくい農業経営力向上塾を開催し、メガファーム経営者の育成を行いました。</p> <p>農業ビジネスの人材育成 66人増 累計130人</p>

項目	実施結果
<p>3 日本一の安全・安心 ◇あらゆる災害対応を迅速第一【部局連携】 ○ハード・ソフトの県土強靱化 ・地元と共働して農業水利施設の点検・管理体制を強化し、災害を未然に防止するとともに、機能診断に基づく機能保全計画を策定し、施設の長寿命化対策を徹底します。 （平成28年度 累計330施設）</p> <p style="text-align: center;">機能保全計画策定施設数 50 施設増 累計 380 施設</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>新たに農業水利施設50施設について機能診断を行い、施設の老朽化の状況を把握しました。 また、安全・安心を確保するための対策を適切に行うため、機能診断を行った施設について、機能保全計画の策定を同時に実施し、長寿命化対策の推進を行いました。</p> <p style="text-align: center;">機能保全計画策定施設数 50 施設増 累計 380 施設</p>
<p>4 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ◇元気な里山里海湖【部局連携】 ○福井の豊かな里山里海湖を次世代に ・水田魚道整備などの生態系保全や植栽などの農村景観保全を行う集落数を増やし、豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に引き継ぎます。 （平成28年度 累計864集落）</p> <p style="text-align: center;">農村環境保全取組み集落数 136 集落増 累計 1,000 集落</p>	<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>市町、多面的機能発揮推進協議会と共働で農村環境保全に関する取組みを促したことにより、新たに206集落が取組みを開始しました。</p> <p style="text-align: center;">農村環境保全取組み集落数 206 集落増 累計 1,070 集落</p>
<p>5 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に ◇県民総参加の福井国体【部局連携】 ○花づくり活動の推進 ・「全国花のまちづくり福井大会」を開催し、国体・障スポ開催に向けた花づくり活動の機運向上につなげます。 交流拡大施策</p> <p>・国体会場へのアクセス道路沿い等に、花や花木を植栽する「花の回廊づくり」や、子ども達が育てた花苗を観光地等へ植栽する「花のスクールステイ事業」を拡大し、県下全域で花のあふれる美しいまちづくりを進めます。</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>6月3日、4日に開催した全国花のまちづくり福井大会では、県内外の花づくり団体が交流するとともに、花卉関連業界や地元商店街等と連携して来場者参加型イベントを開催し、46,000人の参加を得ました。</p> <p>全市町において、「花の回廊づくり」や子ども達が育てた花苗の植栽を実施しました。このうち、県内12カ所の花の回廊は、それぞれ約1kmに渡り、花のあふれる美しいまちづくりが拡大しました。</p>

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)